

# 土砂災害ハザードマップを確認しましょう

## ハザードマップの見方

### ①自宅の位置、付近の避難所の位置を確認しましょう。

ハザードマップには急傾斜地の崩壊、土石流、地すべりの危険性があるエリアが色分けされています。赤色や黄色で着色された所は危険箇所です。自宅と避難所の位置を確認し、危険の少ない場所への避難を考えましょう。ハザードマップをお持ちで無い方は、小千谷市ホームページをご確認いただくか、危機管理課までお問い合わせください。(Tel: 83-3515)



### ②色分けの基準を確認しましょう。

ハザードマップ上の警戒区域は「土砂災害防止法」という法律に基づいて設定されたものです。

#### 警戒区域 (イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合、住民などの生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域

##### ■指定条件 (急傾斜地の崩壊の場合)

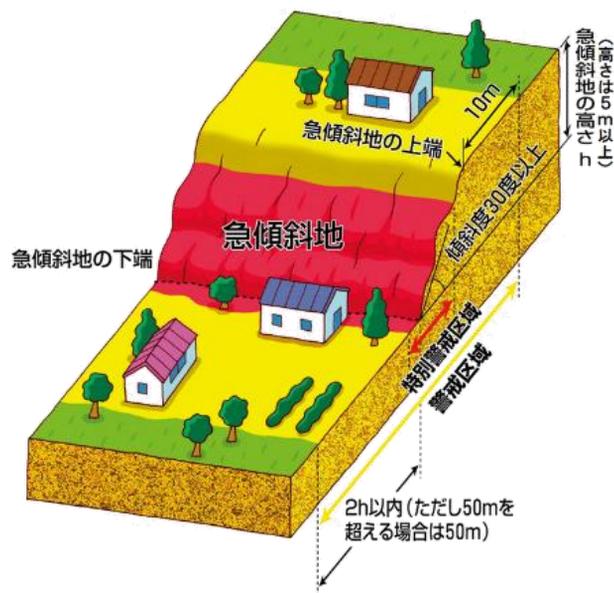
- ・傾斜度が30度以上で高さが5m以内
- ・急傾斜地の上端から水平距離が10m以内
- ・急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍 (50mを超える場合は50m) 以内の区域

#### 特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民などの生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域

##### ■指定条件 (急傾斜地の崩壊の場合)

- ・急傾斜地の崩壊に伴う土石等の移動等により建築物に作用する大きさが、通常の建築物が崩壊を生ずることなく耐えることのできる力を上回る区域

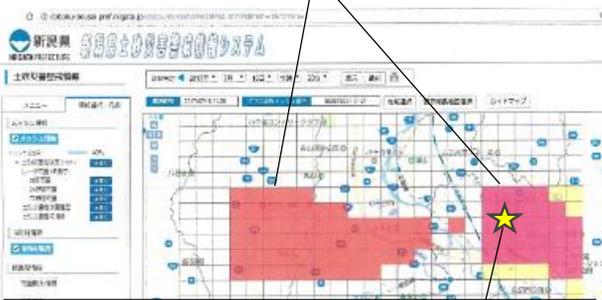


## 強い雨が降り出したら土砂災害警戒情報を確認しましょう

土砂災害は、地中にたくさんの雨が貯まったところに強い雨が降ると発生しやすくなるという特徴があります。

新潟県土砂災害警戒情報システム <http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/> では県内を5km四方のメッシュに区分けして、メッシュの区域ごとに降雨による土砂災害の発生危険度を提供しています。地図でお住まいのところが赤色、紫色のときは危険な状態です。早期避難を心掛けましょう。

赤色、紫色で表示されている区域は危険な状態です



調べたい場所を選択する。右の図が表示され、降雨量と土壌雨量の状態を確認できます。

